

# 弘前市は育児休業取得を推進しています！

voice 06

育児休業  
取得者  
Interview

弘前市職員で組織する福利厚生会では、女性職員だけでなく男性職員の育児休業取得促進を図るため、「男性会員育児休業取得促進事業」として5万円を限度に育児休業の日数に応じた会員互助給付を始めました。育児休業を取得しやすい環境を整備することで、近年男性職員の育児休業取得者が増加傾向にあります。また、職員が自身の育児休業取得による職場の負担を心配することなく安心して育児休業を取得できるよう、「育児休業代替任期付職員」を採用することで、職員の育児休業取得による職場の負担軽減を図っています。

健康福祉部子育て支援課 [行政職]

坂口 恵亮

Keisuke Sakaguchi

平成26年4月 採用



新米パパ、育児に家事に奮闘中！

❶ 育休をとろうと思ったきっかけは？

育児・家事に積極的に参加することで、産後の妻の体力、精神的なケアをしてあげたいと思い育休をとることにしました。

❷ 育休を取得してみた感想は？

毎日のように育児・家事に参加できたことで、本当の大変さを感じることができました。そのおかげで、仕事に復帰してからも、できる限り妻のサポートをしようと思えるようになりました。

❸ 男性の育休取得について。

実際に自分が育児・家事に参加することで分かることがたくさんあります。特に産後は多くのサポートが必要なため大変でしたが、その経験から父親としての責任も感じるようになりました。育休は、父親として大きく成長させてくれる制度です。チャンスがあれば皆さんもぜひ、育休を取得してみてください!! もっと多くの人が、育休制度を利用できる職場環境になればいいと思います。

「弘前デザインウィーク」は、弘前への郷土愛を育む市民運動(ムーブメント)です。



弘前デザインウィークは、新たな弘前市を創造するため、市民全員で取り組んでいくプロジェクトで、市民一人ひとりが、まちをデザインするクリエイターとして参画し、弘前の既存の価値あるものをさらに築き上げていく市民運動の総称と位置付けています。「子どもたちの笑顔あふれるまち弘前」のために、市民とともに、職員として弘前をデザインしましょう!

詳しくは、ホームページをご覧ください。  
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/hdw/>

お問い合わせ



経営戦略部人材育成課人事評価担当  
〒036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1-1  
TEL. 0172-35-1111 《内線 284》  
TEL. 0172-35-1119 《直通》



詳しくは、市ホームページ「職員採用試験案内」をご覧ください。  
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/saiyo/>

ひろさき

職 HIRORI 員

一緒にひろさきの未来を  
デザインしませんか？

採 SFRK 用

Recruitment Information  
... 青森県弘前市 ...

案内



# 先輩職員からのリアル Voice

各質問に答えてもらいました！

- ① どんな仕事をしていますか？！
- ② 仕事のやりがい、感じていること！
- ③ 職場の雰囲気、同僚について！
- ④ 応募の方へメッセージ！

## Voice 01

農林部りんご課【行政職】  
山形 晋子  
Motoko Yamagata  
平成28年1月 採用



りんごの奥深さに日々驚きつつ勉強中です！

- ① 単なる窓口対応だけでなく、自分たちで企画、発信していくことを求められます。りんごで作ったお酒「シードル」のPRや、りんご産業における新たな取り組みを推進するための「りんご産業イノベーション」に関する補助事業、りんご加工品の販路開拓など、りんごに関する仕事をしています。
- ② ずっと弘前に住んでいたのにも関わらず、りんごについての知識が全くなかったのですが、その分セロから学ぶ楽しさがあります。また、色々なシードルを飲む機会があるのは嬉しいです。仕事をやる上で自分ひとりでは何もできなく、他の課

の人や民間企業の方、市民の方などの協力・連携が不可欠な仕事だと日々感じています。

- ③ 職場は何でも相談しやすい雰囲気です。また、同期は年齢もバラバラですが、仕事の相談など何でも話せる、貴重な存在です。日々色々な人に助けられています。
- ④ みなさんが思っている以上に市役所には色々な仕事があります。入った後も勉強の日々ですが、その分やりがいもあります。古くからの文化と現代のセンスが融合して、他には無い、独自のイベントが魅力的なこの弘前市で、ぜひ、一緒に働きましょう。

## Voice 02

ひろさき移住サポートセンター東京事務所【行政職】  
木村 匠  
Takumi Kimura  
平成22年4月 採用



弘前市職員 東京で頑張っています！

- ① ひろさき移住サポートセンター東京事務所は、新しい部署です。首都圏の方に弘前へのUターン・Iターンを考えていただけるよう、情報発信や移住を考えている方の相談の対応を行っています。全国の自治体が人口減少対策に取り組んでいる中、弘前市も負けないよう東京で頑張っています！
- ② ネットワークづくりや情報収集が東京事務所の重要な任務であるため、色々な方とお会いしたり、新鮮な情報に触れることができます。イベントへの参加のため休日出勤は多くなりますが(振替休日がとれます)、こういったイベントを通して、関係団体の方々と

知り合うことができたり、東京の色々なスポットに出かけることができるのが大きな魅力だと感じています。

- ③ 私を含め3名の職員が駐在しています。私以外の職員は女性の先輩で、アットホームな雰囲気を作ってくれています。仕事の話から恋の悩みまで気軽に相談できる職場環境です。東京には国の機関や民間企業に派遣されている市の職員もいるため、食事に行ったり休日は皆で遊びに出かけたりもします。
- ④ 良い仕事のためには休日の過ごし方も大事だと思います。市役所にはクラブ活動があり、様々な部署の職員とコミュニケーションがとれます。個人的には優しくてカッコいい先輩の多い野球部がおすすめです。自分の好みのクラブをぜひ探してみてください。

## Voice 03

経営戦略部広聴広報課【行政職】  
相馬 すみれ  
Sumire Souma  
平成27年4月 採用



クリエイティブのチカラでまちをデザイン！

- ① 地方創生をテーマに、市民一人ひとりがクリエイターとしてまちをつくりあげていくプロジェクト、「HIROSAKI DESIGN WEEK」の業務を担当しています。デザイン？ クリエイティブ？ と思う方もいるかと思いますが、これは「人材育成」「商品開発・ブランディング」「国内外への情報発信」の3つを主なプログラムに掲げ、弘前への郷土愛をはぐむコンテンツ開発や、未来のクリエイター育成につながるプログラムを展開する取り組みを行っています。
- ② 平成28年から本格始動した事業ということで、手探り状態なところもあるのですが、逆に色々な可能

性を秘めている事業だと思います。また、弘前は、職員同士だけでなく、地域の方々など様々な人と関わりながらどんどん挑戦できるところで、弘前への熱い想いを持っている地域の方々に関わりながら刺激的な毎日を過ごしています。

- ③ 私の所属する課には、中国とニュージーランドからの国際交流員や、首都圏へ出向してきた職員など様々な経験を持った方々が居ます。そんな職員の方々から色々な視点でアドバイスをもらいながら、働くことのできる明るく刺激的な職場です。
- ④ 弘前市は、どんどんチャレンジができるところです。弘前でみなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

## Voice 04

市民文化スポーツ部文化スポーツ振興課【行政職】  
今関 勝 (元プロ野球選手)  
Masaru Imazeki  
平成27年1月 採用



スポーツを通じ弘前を明るく元気にしていきます！

- ① プロ野球1軍戦誘致、ベースボール夢事業(講演・野球指導)、トップアスリート育成事業、スポーツ指導員マネジメント等、野球を通じた人間教育をしています。(29年ぶりとなる青森県でのプロ野球一軍公式戦が平成29年6月28日(水)、弘前市運動公園「はるか夢球場」で開催されます)
- ② 子どもへ夢を与える仕事が出来ていると感じています。多くの方とお会いする機会があり、私自身の人間力、指導力も向上できるとともに、人との出会いで仕事が広がっていきます。

はるか夢球場が改築され、プロ野球2軍戦、高校野球で使用されるなど、選手が良い環境でプレーできて、観客の皆様が笑顔になっていく事で、弘前のまちが変わってきていると感じて、嬉しく思います。

- ③ イベントが多く、忙しい部署ですが、市民の皆様楽しんでもらえるよう、職員一同が一致団結しながら一生懸命取り組んでいます。また、文化スポーツ振興課の雰囲気は、明るく、元気な方が集まっています。
- ④ 弘前市は、四季がはっきりしており、自然豊かであり、食べ物がとても美味しいです。また、何より人が温かいです。そんな魅力のある弘前を、さらに明るく、元気なまちにしていきたいと一緒に頑張りましょう。

## Voice 05

建設部道路維持課【技術職】  
馬場 和平  
Kazuhei Baba  
平成27年4月 採用



一番身近なインフラを共に支えていきましょう！

- ① 市が管理する道路の維持修繕と冬の除雪業務等を行っています。夏季は主に維持修繕業務となる道路改修工事の設計・監督、住民からの要望対応(草刈り、道路上の穴埋めの要望、側溝清掃後の泥回収等)などがあります。冬期は職員全員が一丸となって、市内全域の除雪業務を行っています。また台風や大雨など緊急時には市内のパトロールを行い、市民生活の安全確保に努めています。
- ② 現状の道路を改修するために、現地測量を行い、自分で設計書を作ることです。現状を維持するための工事ではなく、施工箇所の付近住民が更に住み

やすくなるよう工夫を加え、それが実際に形になり、感謝されたときの達成感は素晴らしいものです。

- ③ とにかく面白い職員の方が多いです。そのおかげで毎日笑って過ごすことができている。業務を進めると、壁にぶつかることが多々ありますが、そういう時でも笑える環境というのは非常に大事だと思います。またお酒が好きな先輩や上司が多く、夏は職場の人の家でBBQをし、おいしいお酒とお肉をたくさんご馳走になりました。良い意味であまり固くない職場だと感じています。
- ④ 全国でも自治体ブランド力のあるまちになりつつある弘前市を、皆さんと一緒に更に発展させていけることを心より楽しみにしています。

### よくある質問

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。！

- ① 大学卒業程度の試験は大学卒業(見込み)でなければ受験できませんか？  
試験は、年齢要件などの受験資格を満たしていれば、学歴に関係なく受験できます。詳細は試験案内をご覧ください。
- ② 試験について特徴的なことはありますか？  
試験職種によっては、語学資格、U・Iターン希望者・身体障害者手帳などによる加点を実施しますので、試験案内などをご確認ください。
- ③ 配属先はどのようになっていますか？  
事務職の配属先はさまざまで、多様な職務を経験してキャリアを重ねます。専門職、資格・免許職の場合は、それぞれの専門知識・技術に関連した職場に配属となります。
- ④ 学歴、性別、出身地などが受験時に有利・不利になることはありますか？  
学歴、性別、出身地などにより受験上有利・不利になることは一切ありません。採用試験は厳正に、公平・公正に行われています。
- ⑤ 仕事と家庭は両立しやすい環境ですか？  
産前・産後休暇、育児休業、育児短時間勤務など、育児に関する環境が整備されており、また、家族の介護が必要になった場合は介護休暇、介護時間等が利用できるなど、安心して働ける環境となっています。
- ⑥ 福利厚生について教えてください。  
全職員を対象とした定期健康診断、人間ドック、脳ドック等の助成等により、職員の健康管理の充実を図っており、また慶弔等の互助給付、各種厚生資金の貸付、保養所等への利用助成などを行っています。